



三島会館です。コロナ「第7波」と「換気」

「第7波」と言われる中、行動制限のないお盆を過ぎ、オミクロン株による新型コロナ感染者数が全国的に高止まりを続けています(8/23 現在)。この「たより」が皆さまに読まれる頃には学校の夏休みも終わり、さらに感染者数が増加しているのではないかと心配しています。

そのオミクロン株は感染スピードが速く、マスクをしていても、換気の悪い場所では感染が確認されています。第7波では、感染しても無症状や軽症の方が多く、以前ほどの緊迫感はないように見えますが、それでも県内で亡くなる方も連日報告されています。以下は神奈川県ホームページを参考に、換気の大切さをお知らせします。

当初より、新型コロナの感染経路は次の3つのルートだと言われています。

①飛沫感染

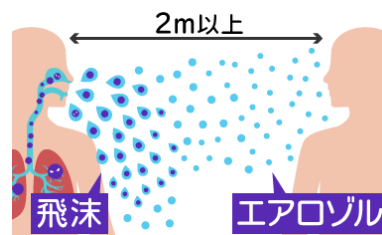
ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着。通常2メートル以内の距離で感染。→「マスクの着用」が有効

②接触感染

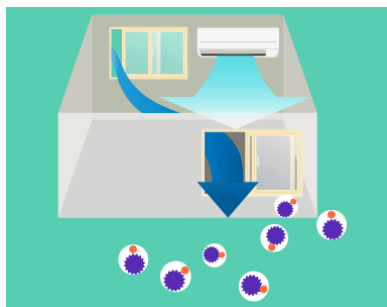
ウイルスを含む飛沫を直接接触したか、ウイルスが付着したものの表面を触った手指で目・鼻・口などの露出した粘膜を触ることにより感染。→「手指の消毒」が有効

③エアロゾル感染

飛沫よりも細かい5マイクロメートル(0.005ミリ)未満の粒子がしばらくの間空気中を漂い、その粒子を吸い込んで感染。2メートル以上の離れた距離にまで感染が広がる可能性あり。→「換気」が有効



「マスク着用」と「手指の消毒」はかなり定着していると思いますが、「換気」については、特にご家庭ではまだ十分とは言えないように思います。



今の時期はまだ暑く、また熱中症対策もあって、閉め切った部屋でエアコンをつけたまま換気をせず、部屋に長時間おられる方も多いのではないのでしょうか。

「換気」の目安としては、30分間に1回、窓を数分間全開。また、できるだけ対角線上にドアや窓を2か所開放すると効果的です。ただ、換気によって室内温度が高くなりがちです。特に高齢者がおられるご家庭ではエアコンの温度設定を下げるなど調整をしてください。

※「エアロゾル感染」と「空気感染」は似ていますが、空気感染は、エアロゾルよりもさらに小さな微粒子となり、空気中を広範囲にわたってかなり長い時間漂い、それを吸い込んで感染します。空気感染するウイルスは麻しん、水痘(水ぼうそう)、結核菌と限られます。

気を緩めることなく、「うつらない」「うつさない」!

敦賀市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンターTEL:24-5025
月～土(祝日は除く)午前9時～午後5時